

平成30年6月18日（月）参議院決算委員会「質問要旨」  
国民民主党・新緑風会 石上俊雄

**1. 米朝首脳会談について**

- (1) 米朝共同声明は、日米の求める CVID は盛り込まれず、北朝鮮の約束「完全な非核化」は定義が曖昧と、酷いディールではないか。ミサイルはどうしたのか。【外務大臣】
- (2) 「完全な非核化」の意味、実施主体や方法・手順・枠組みも不明な段階で「初期コストを支援する用意はある」とは軽率すぎないか。いかなる論理に基づくのか。【官房長官】
- (3) 「米韓演習中止」「将来的な在韓米軍削減」のトランプ発言を事前に聞いていたか。仮にそうなる新たな北東アジアの安保環境はどうなる認識か。対応如何。【防衛大臣】
- (4) 拉致問題解決の日朝会談模索の好機だが、まさかこの機に乗じて、昨年からの国会混乱の政治責任や総裁任期切れ（三選）問題を取り切るつもりではないか。【総理大臣】

**2. 骨太の方針 2018 について**

- (5) 「アベノミクスで経済は大きく改善」との自画自賛だが、ならば何故 PB 黒字化目標は挫折したか。将来世代負担の「財政金融エンジン」空吹かしだけでは、真の意味での、経済財政の体質改善は実現しないのではないか。【内閣府特命担当大臣（経済財政政策）】
- (6) 一般会計 20 か年度を検査対象とした「国の財政健全化への取組について」と題する決算検査の会計検査院の所見について端的にその内容を伺いたい。【会計検査院長】
- (7) 1990 年代以降、先進国では財政悪化を受けて予算制度改革が進展したが、我が国の予算制度はどうか。必要なのは、①拘束力のある中期財政フレームと支出ルール、②日本版財政責任法の制定、③国会内など独立的な財政機関の設置ではないか。【財務大臣】
- (8) 財政審で年金支給開始 68 歳への引上げ概念図が示されたが、繰下げ受給制度を 70 歳超に拡大する方が「人生百年時代」に相応しいのではないか。検討如何。【厚労大臣】
- (9) 「経済再生なくして財政再建なし」の決まり文句を繰り返し、財政再建を先送るだけでは、早晚、年金支給開始や消費税率をさらに引き上げざるを得なくなりかねない。苦しくても過剰な財政出動や金融政策依存から早期脱却を図るべきではないのか。【総理大臣】

### 3. 森友・加計問題について

(10) 改ざん動機を問われて「それが分かりや苦勞せんのですよ」の発言の真意。また、改ざん指示を「拒否した者と拒否しなかった者の差、気持ちが分からない」のでは、責任者として真の意味での再発防止に取組めるのか。無理ではないか。【財務大臣、総理大臣】

(11) 近畿財務局の決裁文書には「本省理財局の感覚からすれば決裁のために必要でない情報が多く含まれている」との記載が調査報告書にあるが、総理夫人や政治家関連の記載はそもそも書かないのが、公文書管理法の趣旨「経緯も含めた意思決定に至る過程」を残す、「現在及び将来の国民に説明する責務が全うされるようにする」に沿っているのか。また応接録は、財務省行政文書管理規則細則に則り事案終了で廃棄するべきだったとの整理か。再発防止として他省庁にもそうした方針を確認するのか。 【財務大臣、総理大臣】

(12) 加計学園問題で愛媛県が国会に提出した文書に記載されている資料（「新しい教育戦略」）が文科省で見つかり、県の文書と符合する事実がまた判明。総理と加計理事長はやはり2月25日に面会しているのではないか。総理日程は終日詳細な記録があるはずで、違うのならば、不在証明＝ある意味でのアリバイを示せるはずではないか。 【総理大臣】

以上

**答弁者**：総理大臣、官房長官、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）、外務大臣、財務大臣、厚労大臣、防衛大臣、会計検査院長